

「考動」を理念に、必要とされる金属製品を生み出す

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



手がけた製品の数々

主な事業内容

金属加工全般、
建築金物関連の設計・開発

主な取引先(納入先)

建築金物、建設資材、架線金物、
オフィス家具の各メーカー

主な製品

電気機械器具、輸送機械部品、
建築金物部品

業務内容

金属製品の試作から
量産まで金型も製作

板原金属は、プレス機や溶接機、レーザ加工機など豊富な設備により、産業機器部品や建築金物など、金属製品の製造を行っており、建築金物については、設計・開発も手がけている。昭和45年に大阪市生野区で創業。現在は八尾市へと移転し、本社工場と第2工場(ラック製作)、第3工場(レーザ加工)に加え、金型製作のグループ会社を有する。

主な製品は、型枠・鉄筋工事金具や電柱変圧器のバンド、スチール家具のボックス類など。多種多様な製品を試作1個から量産で最大月25万個の生産に対応する。また、鉄やステンレス、アルミ、銅など各種素材の加工に対応し、表面処理や組立、配送まで請け負う社内一貫生産体制を整えている。

強み 豊富な設備を強みに
ベストな製造方法を提案

様々な顧客からの製品や加工のオーダーに対応するため、毎年のように設備投資を行っている。豊富な設備を保有するがゆえ、ベストな製造方法を提案できることが強みとなっている。特に建築金物や建設資材においては、開

発・設計段階から参画し、ベストな製造方法を提案することで顧客に貢献してきた製品が多数ある。

また、グループ会社で精密金型製作を手がけるため、プレス金型の製作や保守、修理が可能。ワイヤカット機やマシニングセンタ、NC旋盤を保有し、切削加工にも幅広く対応する。加えて、高精度の検査治具や加工治具の製作も可能で、同社とグループ会社の強固な品質管理体制の構築につながっている。

開発力 コロナ禍に
マスクフレームを開発

新型コロナウイルス感染症の影響でマスクが不足した際、ティッシュやハンカチなどを用いてマスクを作成できる「マスクフレーム」を開発・生産。開発力と企画力、生産力を備えるがゆえ、顧客から相談を受けることも多く、多くの新製品を顧客とともに作り上げてきた。顧客の特許取得に協力した製品も多数あり、顧客との信頼関係構築につながっている。また、製品設計の段階から携わること、その後の同社で担う製造を短納期・低コストで行うことができるというメリットがある。このように、顧客と良好な関係性を構築し、開発・製造に徹している姿勢も同社の強みと言えよう。

社長あいさつ



代表取締役
板原 龍也さん

お陰様で創業54年目を迎えました。プレス加工業から始まり、溶接やタッピング、レーザ加工、組立、表面処理など加工分野を広げてきました。今後も「考動」を理念とし、必要とされるものを考案し、お客様の気持ちになってものを作り、社会に貢献していきます。

主な保有設備

- クランクプレス TPWL300FXほか
アマダプレスシステム製ほか 14台
- ファイバレーザ加工機
BREVIS-1212AJ アマダ製 1台
- プレーキプレス FBDⅢ 8020LDほか
アマダ製 6台
- 溶接ロボット TA-1400ほか
パナソニックコネクタ製 2台
- タッピングマシン BT71-521ほか
ブラザー工業製ほか 10台

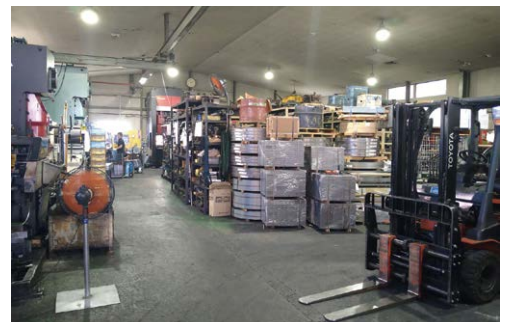


住所 / 〒581-0035
八尾市西弓削
3-22

TEL / 072-948-7887
FAX / 072-948-8837
創業 / 昭和45年 8月
設立 / 平成元年10月
資本金 / 500万円
従業員 / 30名



本社工場外観



本社工場内



<https://www.itahara.co.jp/>